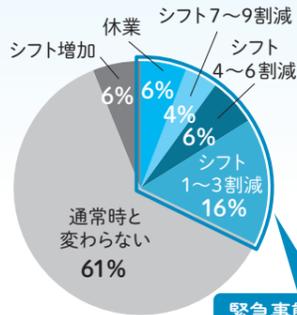


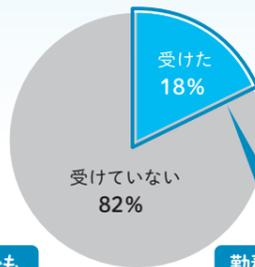
新型コロナにより大きな影響を受けている若者

■緊急事態宣言解除後の就業時間やシフトの状況



緊急事態宣言解除後も、3割以上の方はシフトが回復していない

■新型コロナウイルスの影響による勤務先からの補償



勤務先から何らかの補償を受けた人は約2割に留まる

日本若者協議会に寄せられた声では…

緊急事態宣言解除後もバイトができず、補償もなく生活が苦しい

学校もバイトも休みになって気分が落ち込みうつ状態だ

出所：株式会社エーピーシーズ「第2回 新型コロナウィルスの影響に関するアンケート調査」

出所：株式会社マイナビ「新型コロナウイルスによる非正規雇用への影響調査【就業者篇】」

非正規雇用やアルバイトとして働くことが多い若者は、新型コロナによって、より大きな影響を受けています。飲食業を中心に、緊急事態宣言解除後も客足が戻らずにシフトが回復しない、休業になっても勤務先

から補償が受けられないなど直接的な影響が大きい若者たち。学生の就職活動への影響や、非正規雇用で働く割合が高い若者の雇用不安の増大も懸念されています。

「悩みの共有」から「労働相談」へつなぐサイトの開設へ

新型コロナの影響で、働く悩みを抱える若者たち。その多くは、友達同士での悩みの共有や、SNSや掲示板への投稿により一時的に悩みを緩和するだけで、解決にはつながらず一人で苦しんでいます。「労働相談」は若者にとって身近ではなく、選択肢としては浮かばず、

「自分が我慢すればいい」とってしまうのが現状です。そこで、より多くの若者を、労働相談や解決に向けた専門的な知識へつなぐサイトを制作するプロジェクトを立ち上げました。

サイトコンテンツイメージ

①悩み投稿掲示板機能

- 若者が気軽に安心して悩みを投稿。
- 同じ悩みを持つ若者同士が共感。

②投稿される悩みに対する対策コラムやQ&A

- 解決策のコラムや、よくある悩みに関する情報提供。

つなぐ 連合労働相談窓口・専門家窓口へ

集まった若者の声を、アンケートや調査なども活用しながら、若者の政策提言へとつなげていきます。

「悩みの共有」から「労働相談」へつなぐサイト

サイト制作のための寄附金をゆにふあんで募集中!



プロジェクト名
新型コロナの影響で働く悩みを抱える若者を労働相談に繋ぐ悩み相談プラットフォーム

団体名
一般社団法人 日本若者協議会

詳しくはこちら



ねえ、つながっちゃお!!

ゆにふあんで活動事例集

ゆにふあんでできること

- 情報共有
- ボランティア募集
- 物資支援の募集
- 募金・寄附金
- クラウドファンディング



第5回

日本若者協議会
「新型コロナの影響で働く悩みを抱える若者を労働相談に繋ぐ悩み相談プラットフォーム」

社会貢献の分野

- 働く人を応援
- 貧困から守る
- 教育・子育てを応援
- 障がい・介護を支える
- 自然を守る
- フードバンク・子ども食堂
- 地域を元気に
- 被災地を応援
- 動物を守る
- その他

若者の声を社会へ届ける日本若者協議会

日本若者協議会とは、若者の声を社会へ届けることを目的に、高校生や大学生が中心となって活動しています。各政党との意見交換会や日本版ユース・パラメント（若者議会）の開催など、多彩な政策提言活動を行っています。これまで、被選挙権年齢の引き下げ、供託金の引き下げ、審議会での若者比率の上昇、子ども・若者省の設置などでは、多くの場面で数多くの若者の声を反映してきました。また、超党派の「若者政策推進議員連盟」の事務局を担っています。



連合と意見交換会を開催



連合とは2020年2月に、若者がブラックバイトをはじめ様々な労働問題に直面していることへの問題意識から意見交換会を開催しました(月刊連合NO.376掲載)。また、「YouTube労働教育講座」動画を連合との協力で制作しています。

YouTubeで「日本若者協議会」のチャンネルを登録してね

「ゆにふあんで」とは、労働組合独自で展開しているボランティア活動や、地域で付き合いのあるNPO・NGOなどと連携した活動を「見える化」して、個人の意思で活動に参加することや、物資や資金などを支援することができる仕組みです。「支え合うこと、助け合うこと」をもとに身近に、そして社会に広げていきます。第5回は、連合本部推薦の日本若者協議会「新型コロナの影響で働く悩みを抱える若者を労働相談に繋ぐ悩み相談プラットフォーム」を紹介いたします。

ゆにふあんで活動事例集

